



アジア・ネットワーク・ビヨンド・デザイン

ANBD 2016 東京展

2016年11月19日(土) - 11月27日(日)

東京工芸大学 中野キャンパス1~3号館・芸術情報館

10:00 - 18:00 入館無料

「間」 2016年度のANBD制作テーマは「間」
東アジアの265のメッセージが作品になりました。

11月19日(土)

- 12:30 - オープニング 2号館B1F プレイス
- 13:00 - 講演会「日本の文化と芸能における「間」(Ma)の精神」
講師：小林直弥 (日本大学芸術学部演劇学科 教授)
司会&コーディネート：笠井則幸
参加費無料・事前申込み不要・1号館B1F大講義室
- 15:00 - レセプション 2号館B1F プレイス
銚子はね太鼓、フードデザインユニット FUTASARA

11月23日(水・祝日)

- ワークショップ (市民参加・事前申込みにより見学可)
- 13:00 ~ 16:00 3号館3101、3102教室
「レーザーカッターでオリジナルスタンプを作ろう!」
講師：谷口広樹 (東京工芸大学芸術学部教授)
塚原寿子 (東京工芸大学芸術学部助手)
- 年賀状やクリスマスカード、手紙に使えるイラストスタンプ (絵 + 文字) をデザインし、
レーザーカッターを使ってオリジナルスタンプを作ります。

共催：アジア・ネットワーク・ビヨンド・デザイン協会
アジア・ネットワーク・ビヨンド・デザイン日本協会
東京工芸大学
後援：玉川大学
協力：銚子はね太鼓保存会、FUTASARA

会場に関するお問い合わせ：
東京工芸大学 中野キャンパス
〒164-8678 東京都中野区本町 2-9-5
Tel: 03-3372-1321
担当 / 塚原 tsukahara@dsn.t-kougei.ac.jp

展覧会に関するお問い合わせ：
ANBD 日本協会事務局
〒194-8610 東京都町田市玉川学園 6-1-1
玉川大学芸術学部デザイン研究室
担当 / 中島 tokyo@anbd.info

KOGEI 東京工芸大学



講演会講師プロフィール

『日本の文化と芸能における
「間」(Ma)の精神』



小林直弥
(日本大学教授)
1969年生まれ。日本大学
大学院芸術学研究科舞台
芸術専攻を修了。同大学院
博士後期課程を単位取得

満期退学。その後舞踊文化研究所主任研究員
を経て、現在は日本大学芸術学部教授 (演劇
学科)。専門は舞踊学、日本芸能史、民俗芸能
研究。日本舞踊における創作舞踊作品の執筆、
作品解説、上演制作等も手がけている。昨今で
は、国立劇場公開講座、第53回伝統芸能サロ
ンにおける講師も勤めた。

ワークショップ講師プロフィール



谷口広樹
(東京工芸大学教授)
1957年生まれ。1982年
東京藝術大学大学院美術
研究科修了。絵画思考を
核に独自の世界観をグラ

フィックデザイン、イラストレーション、絵画の場
で展開させている。代表的な仕事に長野オリ
ンピック開・閉会式のプログラムがある。



塚原寿子
(東京工芸大学助手)
グラフィックデザイナーを
経て、東京工芸大学大学院
芸術学研究科修了。和文
カリグラファー (デザイン書

道家)、グラフィックデザイナー、東京都非常勤講
師。デザイン書道の表現の可能性を求め、ワー
クショップ等を開催。

ANBDのあゆみ

*＝メイン会場

第1回 共通テーマ：アジア 2008年8月―10月

会場：ソウル(韓国)、札幌[札幌市立大学]、台南(台湾)、天津(中国)
 展覧会以外の活動(札幌)：記念講演、作家アトリエ訪問ほか

第2回 共通テーマ：ネットワーク 2009年8月―11月

会場：天安(韓国)、台南*(台湾)、天津(中国)、奈良[奈良文化会館]
 展覧会以外の活動(奈良)：学生ワークショップほか

第3回 共通テーマ：ビヨンド 2010年9月―11月

会場：清州(韓国)、台北(台湾)、横浜*[赤レンガ倉庫]、天津(中国)
 後援：玉川大学 助成：芸術文化振興基金
 展覧会以外の活動(横浜)：記念講演、ライブペインティング、ワークショップほか

第4回 共通テーマ：生命のためのシステム 2011年8月―12月

会場：ソウル(韓国)、天津*(中国)、台北(台湾)、横浜[赤レンガ倉庫]
 後援：玉川大学 助成：芸術文化振興基金
 協力：東京学芸大学石井研究室 公益財団法人横浜市芸術文化振興財団
 展覧会以外の活動(横浜)：基調講演、震災地支援プロジェクト、
 ワークショップ、ミニコンサートほか

第5回 共通テーマ：地域文化 2012年9月―12月

会場：ソウル(韓国)、桃園*(台湾)、蘇州(中国)、横浜[赤レンガ倉庫]
 後援：玉川大学 助成：芸術文化振興基金
 協力：公益財団法人横浜市芸術文化振興財団
 展覧会以外の活動(横浜)：ミニコンサート、デジタルステーションほか

第6回 共通テーマ：未来へ向けたアジア文化遺産 2013年8月―12月

会場：相模原[女子美アートミュージアム]、雲林(台湾)、天津(中国)、ソウル*(韓国)
 共催：女子美術大学美術館 後援：玉川大学 相模原市 協力：株式会社モリサワ
 展覧会以外の活動(相模原)：シンポジウム、ワークショップ

第7回 共通テーマ：カタチの中のアジアの心 2014年8月―12月

会場：ソウル(韓国)、台北(台湾)、天津(中国)、東京*[東京工芸大学]
 共催：東京工芸大学 後援：玉川大学 協力：株式会社ワコム
 展覧会以外の活動(東京)：記念講演、ワークショップ

第8回 共通テーマ：天地風物 2015年9月―11月

会場：東京[東京工芸大学]、ソウル(韓国)、高雄(台湾)、成都*(中国)
 共催：東京工芸大学 後援：玉川大学 協力：小林静山堂
 展覧会以外の活動(東京)：講演会、ワークショップ

東アジアの新たな文化交流ステージを創る国際展

「ANBD (アジア・ネットワーク・ビヨンド・デザイン)」は、日本、台湾、中国、韓国の4都市で毎年開催される国際デザイン展です。9年目を迎える本年度の開催地は、ソウル、長春、雲林、東京(会期順)、2016年度制作テーマは“間”。グラフィックデザイン、写真、イラストレーション、空間デザイン、工芸などさまざまなジャンルにわたる作家が参加し、デジタル出力によって表現された作品を中心に各会場で展示いたします。4都市が連携し、地域・世代・ジャンル・産学などの枠組みを超えて、アンデパンダンな国際展を開催するANBD展は、東アジアにおける新たな文化交流のステージの創造をめざしています。

“間”をテーマとするさまざまな作品

ANBD2016 東京展は、11月19日[土]から27日[日]まで、東京都中野区の東京工芸大学キャンパスで開催されます。本展では、“間”をテーマとする265点の作品を展示いたします。東アジアの作家たちは、このテーマをどのようにとらえ、どのようにビジュアライズするのか、それぞれの作品に込められた“間”への想いを見いだして頂ければ幸いです。なお、本展の会場では、国内外の作家および東京工芸大学の教員・学生による個展も併せて開催いたします。

ANBD2016(第9回)の日程と開催地

8月25日―30日 ソウル展(韓国)：Dream Forest Art Center
 9月23日―29日 長春展(台湾)：吉林芸術大学
 10月7日―13日 雲林展(中国 メイン会場)：雲林科技大学
 11月19日―27日 東京展：東京工芸大学

特別展 冬季アジア札幌大会支援企画 ANBD 特別コラボポスター展

2017年2月8日―12日 北海道：札幌市民ギャラリー

ANBD

(アジア・ネットワーク・ビヨンド・デザイン)

Asia = 東京、ソウル、天津、台北の4都市を地域拠点とする。

Network = 出品者からの紹介などによって人的ネットワークを拡張する。

Beyond = 地域・世代・ジャンル・組織・産学・プロアマ・スタイルなど、様々な枠を超えた交流のステージを創造する。

Design = 狭義でのデザインだけでなく、有形無形のシステムやアート活動など、広範なクリエイティブ活動全般を対象とする。

ANBD協会

デジタル通信を活かした展覧会運営を行い、東アジアデザインの新しいネットワークの構築を目指す。展覧会開催、会員間交流の推進、教育 交流活動、作品集刊行、ANBDエクセレントアワード授与などを主な活動とし、2008年の活動開始以来、国際デザイン展ANBDを主催している。

ANBD

エクセレントアワード

4地域16名の審査員によって選ばれた作品にANBDエクセレントアワードが授与される。東京地域の審査員は、谷口広樹(東京工芸大学教授)、永井裕明(東京造形大学教授)、岸本吉弘(神戸大学 発達科学部准教授)、小松太志(郡山女子大学短期大学部准教授)の4名。(敬称略・順不同)

※ANBDの出品者は4つの展覧会に向けてそれぞれ異なる作品を出展しています。

東京工芸大学 中野キャンパス 1～3号館・芸術情報館

〒164-8678 東京都中野区本町2-9-5

TEL：03-3372-1321(代表)

公式HP：<http://www.t-kougei.ac.jp>

【アクセス】

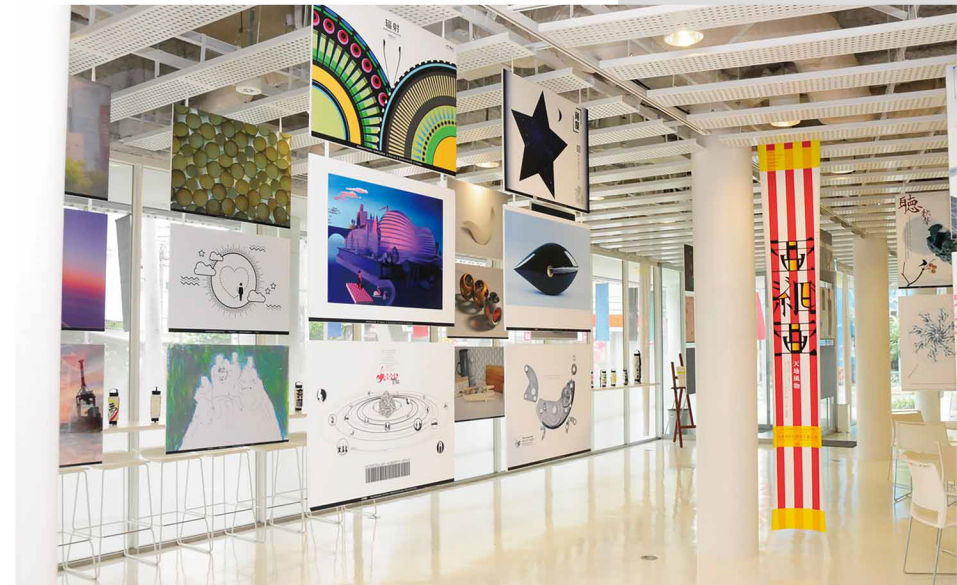
地下鉄／東京メトロ丸ノ内線・都営地下鉄
大江戸線「中野坂上駅」より徒歩7分

1番出口より山手通りを初台・大橋方向に
進み、成願寺を右折

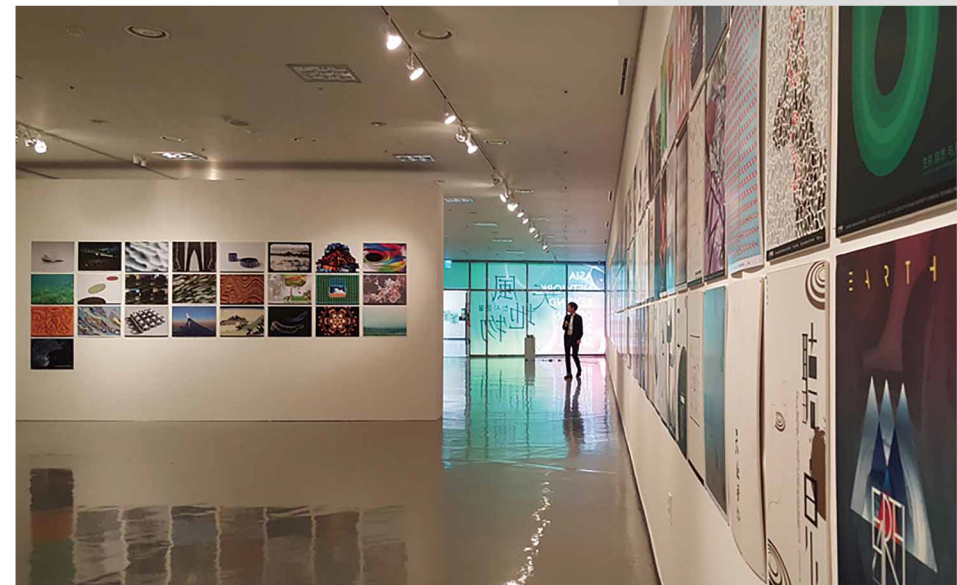
※駐車場がございません。公共の交通機関
でご来場ください。



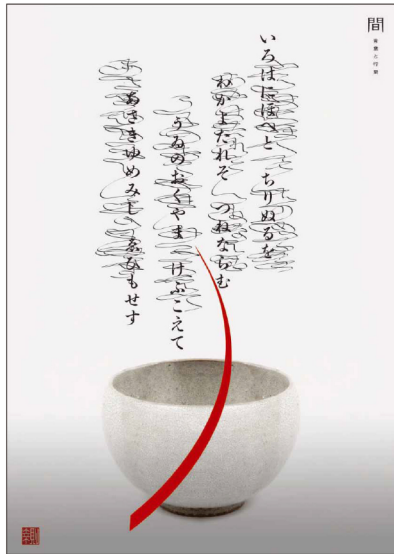
東京工芸大学中野キャンパス地図



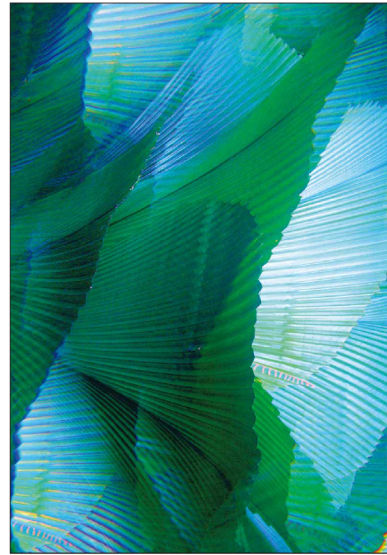
会場風景 (2015 東京展)



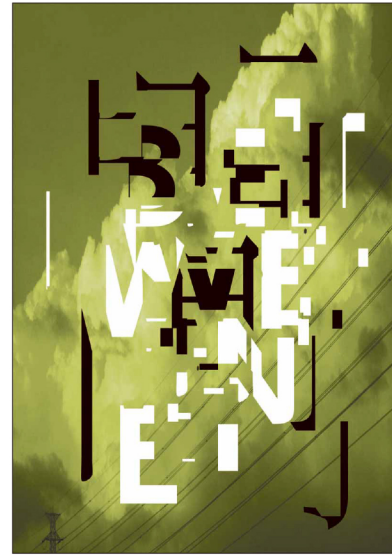
会場風景 (2015 ソウル展)



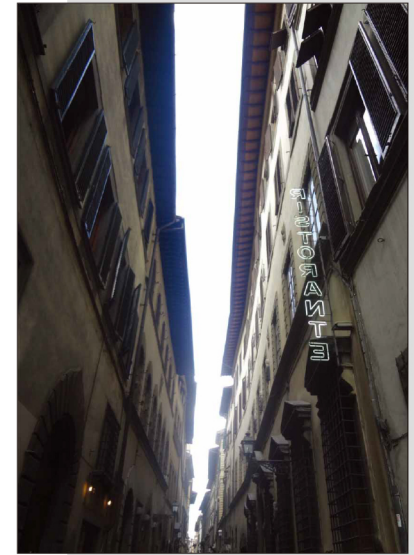
笠井 則幸 「The soul of language and space between the lines」



Chen Guangdah 「Between 01」



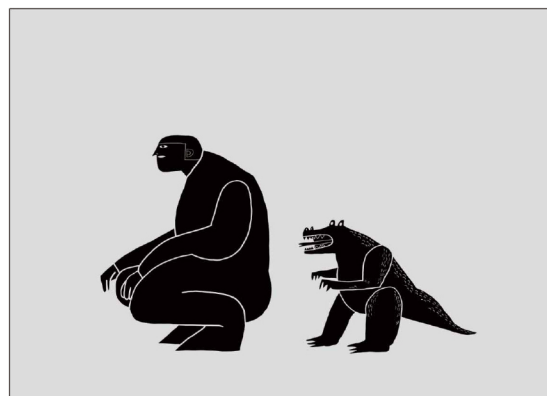
Kim Jeehyun 「Between + Between 4」



Chang Heemok 「Roofs in between」



大島 直樹 「YATSUME-AMI」



中村 翔太郎 「SOMETHING TELLS ME-01」



Sun Debo 「Do Visivel ao Invisivel」